

## 【地域医療を支えるエコー検査の有用性】

地方における医療現場では、人口減少や高齢化が進行する中、医師や医療スタッフの不足が深刻化しています。これに伴い、医療現場での効率的な診療が求められています。そのような中で、**超音波検査（エコー検査）**の活用が注目されています。

エコー検査は、痛みや放射線被ばくの心配がなく、患者への負担が少ない診断ツールです。この検査は、特に肝細胞癌や胆嚢癌、膵臓癌、胃癌、大腸癌、虫垂炎といった病気の早期発見に役立ちます。さらに、以下の3つの診断判断を迅速に行うためのツールとしても有用です。

1. **様子を見ておけばよいのか**
2. **すぐに処置が必要なのか**
3. **大きな病院に送るべきなのか**

エコー検査を活用することで、診断プロセスが効率化されるだけでなく、迅速で正確な判断が可能となり、患者に最適な治療をタイムリーに提供することができます。また、コメディカルとのタスクシェアを進めることで、医療現場全体の連携が強化され、診療の質向上につながります。

**地方での課題**として、超音波検査装置が設置されていても、その操作や診断技術の習熟者が不足していることが挙げられます。この課題を解決するためには、検査技術を学び、実践的なスキルを身につけるための研修が必要です。

## 【超音波検査講習会のご案内】

私たち NPO 法人「医療を未来につなげる会」は、地域医療の改善を目指し、超音波検査の講習会を開催しています。この講習会では、診断技術やスキルを学べるだけでなく、現場での活用方法についても具体的に指導します。医療従事者だけでなく、医学生や技師、地域医療に関心を持つ方々も対象です。

また、ご希望があれば、**講師が訪問し、貴院のエコー検査機を使用しての講習も対応可能**です。現場でお使いの機器を用いることで、より実践的な学びを提供できます。

お気軽にお問合せください。

〒920-8217 金沢市近岡町 294 番地 7

NPO 法人 医療を未来につなげる会（担当 的場）

TEL: 076-213-9200

Mail: [npo.tsunagu@m-esther.or.jp](mailto:npo.tsunagu@m-esther.or.jp)